

地盤工学会中国支部 岡山地域セミナー 〔防災教育WG〕

2020年度活動報告 2021年度活動方針

氏名	所属	担当テーマ
◎ 西垣 謙	岡山大学 名誉教授	全体総括指導
◎ 妹沢 隆行	岡山大学 大学院 環境学研究所 准教授	テーマ4 (情報発信(データ処理・閲覧・普及))
◎ 赤木 善春	岡山大学 大学院 教育学研究所 特任教授	全体総括指導
◎ 鈴木 茂之	岡山大学 理学部 地球科学科 教授	テーマ2 (豪雨災害(斜面崩壊・土石流))
◎ 柴田 俊文	岡山大学 大学院 環境学研究所 准教授	テーマ4 (情報発信(データ処理・閲覧・普及))
◎ 赤木 万智	気象庁 岡山地方気象台 台長	教養に関する情報提供
◎ 小林 一智	岡山県 土木部 技術管理課 技術指導班 主任	行政的見地からのアドバイス
◎ 新村 輝	岡山地下水资源有限会社	テーマ3 (河川災害(洪水・堤防決壊))
◎ 川崎 元	株式会社土木本報	テーマ2 (豪雨災害(斜面崩壊・土石流))
◎ 小林 昇	株式会社ジブプレイン	テーマ4 (情報発信(データ処理・閲覧・普及))
◎ 鳥部 隆	株式会社ウエスコ	テーマ3 (河川災害(洪水・堤防決壊))
◎ 藤原 身江子	株式会社ウエスコ	テーマ1 (地震災害(津波・液状化))
◎ 柏崎 徹	株式会社荒谷建設コンサルタンツ 岡山支社	テーマ1 (地震災害(津波・液状化))
◎ 橋 徹	土質工学株式会社	テーマ1 (地震災害(津波・液状化))
◎ 平岩 直樹	復建調査設計株式会社 岡山支社	テーマ3 (河川災害(洪水・堤防決壊))
◎ 二木 重博	株式会社エー・日本技術開発	テーマ2 (豪雨災害(斜面崩壊・土石流))
◎ 小川 信	岡山県 土木部 防災砂防課 砂防班 主幹	オブザーバー・アドバイザー
◎ 宇崎 勇雄	岡山県 危機管理課 防災対策班 主事	オブザーバー・アドバイザー
◎ ニノ宮 健一	岡山県 教育庁 保健体育課 指導主事(主幹)	オブザーバー・アドバイザー

◎ WG長 ○ 副WG長 ▼ 事務局

テーマ1: 地震災害(津波・液状化)

○ 柏崎、藤原、橋

テーマ2: 豪雨災害(斜面崩壊・土石流)

○ 二木、鈴木、川崎

テーマ3: 河川災害(洪水・堤防決壊)

○ 平岩、西村、与那城

テーマ4: 情報発信(データ処理・閲覧)

○ 小林、柴田、西村

共通テーマ: 防災教育の普及・伝承の構築

○ 西村、メンバー全員

◎ 岡山県民の防災意識

・ 岡山県は地震・豪雨災害が少なく、防災・減災に関する意識が低い



・ 平成30年7月の豪雨災害を機に、防災意識が急激に高まっている。この意識の継続が大切である。

4

平成30年7月豪雨災害



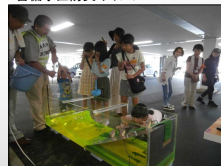
国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所 提供

2019年度活動事例 津波実験の公開

・ 夏休みお天気教室

2019.8.1
岡山県生涯学習センターにて

・ 吉備学区防災キャンプ

2019.9.8
岡山市吉備公民館にて

2020年度はいずれも中止

2019年度活動事例 玉島防災フェスティバル2020 (倉敷市玉島市民交流センター)

・ 2020年3月7日(土)に予定されていた、玉島防災フェスティバル2020は新型コロナウイルス感染拡大のため、中止となった。

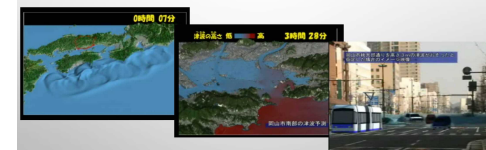
・ 玉島防災フェスティバル2021も早々に中止が決定。



講演用PPT (抜粋)

2019年度活動事例活動 エキチカひろばでのイベント開催参加

2020年2月15日(土)～16日(日)に、土木学会中国支部主催の図画コンクール発表に合わせて、岡山市街地に津波が来襲した場合のシミュレーション動画を公開した。



2020年度は開催なし

2021年度の活動方針

- ・ リモートによるWG活動活性化(会議・対外活動)
- ・ 新型コロナ沈静化後の活動のための準備
- ・ 活動方針の2つの軸と普及活動
- ① 防災意識の高揚(イベント等での展示・実演)
 - 予測される災害の基礎知識の習得
 - 災害形態等について目で見る形で理解
- ② 自助・共助のための防災教育
 - (学校・公民館等での防災教育)
 - 災害時の各人の対応についての具体的指導

②自助・共助のための防災教育について

- ・ 想定される災害形態を把握しておく
- ・ 避難場所を知っておく
- ・ 避難の際の危険箇所を把握し、安全な避難経路を把握しておく

【広島市の技術士会・建コン協の実施方式】

小・中学校の生徒を対象に、白地図に自宅・避難場所・避難の際の危険箇所と安全な避難経路を記載し、各生徒が身を守るための現実的・具体的な指導をしている。

10

災害形態に応じた防災教育の着目点

〔広島〕

- ・ 山地が市街地付近まで迫っており、民家や公共施設が山腹斜面の裾付近まで分布している。
- ・ 風化により岩塊・玉石混じりの土砂化した花崗岩が分布し、豪雨時に浸食・崩壊が生じやすい。

土石流、斜面崩壊等の土砂災害が主体

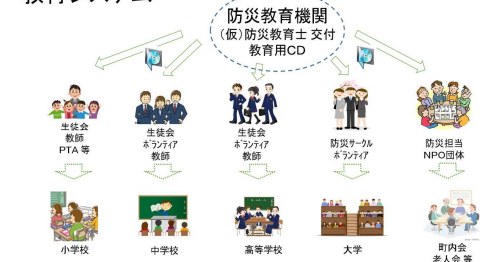
〔岡山〕

- ・ 市街地から瀬戸内の海岸付近までは、干拓地等の平坦地が広く分布し、海抜が低い地域が多い。
- ・ 高梁川、旭川、吉井川等では、集中豪雨時に中国山地からの流入水により急激な水位上昇を生じる。

河川氾濫・津波・高潮等の水害が主体

共通テーマ 防災教育の普及・伝承

教育システム



令和2年度 第3回危機管理担当者連絡協議会

～危機管理マニュアル等の見直しについて～



岡山市教育委員会事務局
学校教育部指導課
令和3年2月16日(火)
15:00～16:45
岡山ふれあいセンター 大ホール

令和3年度 実践的安全教育総合支援事業について

岡山市教育委員会事務局学校教育部指導課

1 事業の趣旨

地域協働での学校安全推進体制の構築を図ることをめざし、大学教授等の専門家の指導助言を仰ぎ、危機管理マニュアルや避難訓練、交通安全教育や防犯教育等の体系的な安全教育を計画、実施することで、自然災害や事故、通学路の危険に際して自ら安全に行動し、他の人や社会の安全に貢献できる資質の育成を目指す。

2 事業概要

①危機管理研修会の開催(年3回、3回目は実践成果発表を伴う)

②「学校安全アドバイザー活用事業」

学校安全の三領域「災害安全(防災)」「交通安全」「生活安全(防犯)」を重視し、大学教授や警察等の専門家による危機管理マニュアルの見直し、避難訓練、交通安全教室、防犯教室等についての指導助言を行う。

〔アドバイザー〕

	氏名	職名	所属	種別
1	西村 敬一	岡山理科大学 客員研究員	岡山理科大学フロンティア理工学研究所	災害安全
2	金光 龍弘	川崎医科大学 名誉教授	川崎医科大学 臨床心理学科	交通安全
3	竹下 祐二	岡山大学 教授	岡山大学大学院環境生命科学研究科	災害安全
4	氏原 岳人	岡山大学 准教授	岡山大学大学院環境生命科学研究科	災害安全
5	鈴木 茂之	岡山大学 名誉教授	岡山大学大学院自然科学研究科 (理学部地球科学科)	災害安全
6	宇野田雅司	岡山地方気象台 防災気象官	岡山地方気象台 防災管理官室	災害安全
7	清水 孝次	岡山県警察 警視	生活安全少年課 学校警察連絡室長	生活安全
8	三宅 晃	岡山県警察 警部補	交通安全企画課 安全指導係係長	交通安全